

平成28年度 政策づくり塾 第5回活動報告

第5回（10月14日）はアイスブレイクとして「最近、感動した出来事」についての1分間トークから始まりました。9月の活動が台風の影響で延期になったこともあり、少し緊張感がありましたが、和やかな雰囲気スタートできました。

前回欠席した塾生が、「自分の取り組みたい活動」について発表した後、塾として今年度取り組むテーマを2つ決定し、グループワークを行いました。

窪田塾長からのあいさつ



これから地域公共活動を実践していくうえで、以下の点を留意しながら進めてほしい。

- ◆最終的な目的を明確にすること。
- ◆これまでにこの地域でどのような取組がされてきたか、また、現在どのような取組をしているのか、先進事例と既存事例を調査し、把握すること。
- ◆政策づくり塾ならではの「おもしろみ」や「オリジナル」の要素を考えること。
- ◆活動するからには自分たちも楽しんでやれるようにしてほしい。

グループワーク・発表

塾として今年度取り組む2つの活動を決定。各々のグループで活動目的や活動内容について意見を出し合うなど、活発な議論が交わされました。

提案名	メンバー名
スマートウェルネスシティの実現に向けたウォーキングマップづくり	土下、堀江、松井、松岡、羽賀、竹ノ内、森下（OBアドバイザー）
舞鶴の企業自慢、地元企業で働くPR	石束、高田、矢島、田畑、眞下、伊藤、森本（OBアドバイザー）、仲井（OBアドバイザー）

「スマートウェルネスシティの実現に向けたウォーキングマップづくり」グループ

◇協議内容

- 様々なウォーキングコースを検討しマップを作成する。
- 市民や観光客にコースを紹介する。
- 市民にもおすすめのコースを紹介してもらい、一緒にマップを作成する方法も検討。

〔塾長からのアドバイス〕

ウォーキングマップの目的と対象者をはっきりさせた方がよい。マップを作製するだけでなく、マップを使って実際に市民と歩いてみるのもおもしろいと思う。



「舞鶴の企業自慢、地元企業で働くPR」グループ

◇協議内容：

- 舞鶴には働く場がないと思っている若者と、若い働き手が欲しいと思っている企業を繋ぎたい。
- 舞鶴の企業に仕事内容や自社アピール等についてプレゼンテーションをしていただく。
- 中学生を対象に参加を募る。

〔塾長からのアドバイス〕

すでに学校では職場体験等を行っている。現在、取り組んでいることと同じことをしてもおもしろみがないので、同じ取組とならないよう検討してほしい。

